

ニュースや写真、ご意見、投稿(800字程度)など、
情報をお寄せください。 tokyo@jmd.co.jp

1 FAX(03)3436-6553
2 FAX(03)3436-3247
3 FAX(03)3436-3273

支 局

関西支局 〒530-6109 大阪市北区中之島3-3-23 ☎(06)6448-3691 FAX(06)6448-7749
静岡通信部 〒410-0012 沼津市岡一色101-40 ☎(055)921-4072 FAX(055)926-2111

設立10周年 盛大に祝う

日本船舶管理者協会

日本船舶管理者協会は6月24日、東京都内で設立10周年記念パーティーを開いた。会員事業者や国土交通省、鉄道建設・運輸施設整備支援機構の関係者らが出席した。同協会の望月正信理事長(山友汽船社長、写真)は「中小零細事業者、小型船が多い内航業界では、人材確保、組織的な船舶管理業務を進めていく上で、船舶管理会社、当協会の役割が重要になる」との認識を示した。

同協会は、2005年の内航3法改正後に内航船舶管理が重要な役割を担うため、船舶管理会社のレベルアップと地位向上を目指し、船舶管理会社の業界団体



望月理事長「役割重要に」

として06年4月に内航の船舶管理に関わる8社を発起人に任意活動を開始。今年10月でNPO法人格を取得し10年が経過することを記念し、この日のパーティーを開いた。

望月理事長は「今後、後継者不足やアウトソーシングを進める船主が増えることが予想されるなかで、船舶管理による人材確保と組織的な船舶管理業務がその状況を打破する鍵となる」とし、「船舶管理会社の役割と責任が重大となり、事業者団体として情報交換や意見を反映させる協会の役割と存在も重要になってくる」と語った。

来賓の国土省内航課の池光崇課長は「10年を区切りに、協会がどこを目指していくのか。一緒に考えていきたい」とあいさつ。乾杯の音頭を取った日本内航海運組合総連合会の小比加恒久会長は「節目を迎え、縁の下の力持ち的な存在として業界のために頑張ってほしい」と語った後、歓談に移った。

港フェスタ金沢2016実行委

港の施設見学 or 巡視船で体験航海

16日、参加者募集中

港フェスタ金沢2016実行委員会(事務局・金沢港振興協会内)は16日、金沢港の施設見学バスツアーと海上保安庁の巡視船「えちご」の体験航海を企画し、参加者を募集している。それぞれ定員制で複数回を予定、

大阪港開港150年

ロゴマーク決定

船観覧車モチーフに

大阪市港務局は、大阪港開港150年記念事業のロゴマークを決定した。発展を続ける国際貿易港や親水性に富んだ臨海地域をモチーフとした

